

## スズキ、新型「DR-Z4S」、「DR-Z4SM」を発表



新型「DR-Z4S」



新型「DR-Z4SM」

スズキ株式会社は、11月5日から10日までイタリア・ミラノで開催される二輪ショー「EICMA 2024（ミラノショー）※1」において、デュアルパーパスモデルの**新型「DR-Z4S」**及びスーパーモトモデル※2の**新型「DR-Z4SM」**を発表しました。**新型「DR-Z4S」**は2025年4月より、**新型「DR-Z4SM」**は2025年5月より北米・欧州を中心に各国で順次発売を開始します。

※1 プレスデー：11月5日～6日、一般公開日：11月7日～10日

※2 オフロードバイクにオンロードタイヤを装着して舗装路面とダート路面の混在したコースを走行してスピードを競うレースから生まれたカテゴリー

**新型「DR-Z4S」**は、街乗りから本格的なオフロードまで幅広く楽しめるデュアルパーパスモデルです。**新型「DR-Z4SM」**は、日常使いからサーキット走行まで多様なライディングを楽しむスーパーモトモデルです。

両モデル共に、軽快なハンドリング及び低速から高速までスムーズなエンジン特定を犠牲にすることなく、各国の排ガス規制、騒音規制、ブレーキ規制に対応しました。

新搭載の電子制御システム S.I.R.S.（スズキインテリジェントライドシステム）には、G（グラベル）モードを含むトラクションコントロール、SDMS（スズキドライブモードセクター）、解除モード付 ABS を採用し、ライダーのスキルや路面のコンディションに応じた多様なライディングが可能となりました。さらに、アグレッシブなスタイリングデザインに加えて、LED 灯火類や LCD メーターを備え、先進的な外観としました。

**新型「DR-Z4S」、新型「DR-Z4SM」**それぞれに最適なタイヤ、ディメンションを採用したことで、デュアルパーパスモデル、スーパーモトモデルとして高い走行性能を発揮します。

代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント

スズキの二輪事業は 1952 年に参入して以来、「お客様の立場になって価値ある製品を作ろう」という社是に基づいて展開してきました。今後も二輪業界の発展に全力で取り組み、お客様の望む魅力的な二輪車を提供し続けるとともに、二輪事業のさらなる成長を追求していきます。

主な装備と諸元

		DR-Z4S	DR-Z4SM	概要
装備	S.I.R.S. (スズキインテリジェントライドシステム)	スズキドライブモードセクター (3モード)		出力特性を3モードから選択可能
		スズキトラクションコントロールシステム (2モード+Gモード+オフ)		リヤホイールの空転が感知された時に、エンジン出力を制御
		ABS (フロント+リヤ解除モード)	ABS (リヤ解除モード)	
		電子制御スロットル		
		スズキイージースタートシステム		クラッチレバーを引かずにワンプッシュでエンジン始動が可能
諸元	全長×全幅×全高(mm)	2,270 x 885 x 1,235	2,195 x 885 x 1,190	
	ホイールベース(mm)	1,495	1,465	
	最低地上高(mm)	300	260	
	シート高(mm)	920	890	
	装備重量(kg)	151	154	
	タイヤ(フロント)	80/100-21M/C 51P チューブタイプ	120/70R17M/C 58H チューブタイプ	
	タイヤ(リヤ)	120/80-18M/C 62P チューブタイプ	140/70R17M/C 66H チューブタイプ	
	エンジン型式	398cm <sup>3</sup> 水冷4サイクル 単気筒 DOHCエンジン		
	タンク容量(L)	8.7		

写真と諸元は海外仕様です。

以上